

## 『医療機器への電子部品供給ガイド』 出版報告会

■主催：電子部品部会 企画委員会 医療機器対応タスクフォース

■担当部署：電子部品部

■参加者数：約150名

### 概要

日本を含む多くの先進国は、高齢化社会が到来することが確実であり、ますます健康維持の営みが世界の大きな課題となります。

それに伴い、医療関連産業が大きく成長することが期待されています。日本においては、2013年に安倍内閣が医療および医療関連産業の拡大をアベノミクスの第三の矢の主要施策のひとつとして位置づけ、産官学協力して産業の拡大をすることを掲げています。

電子部品メーカーとしても、医療の質の向上という社会的使命を果たすために、また業界の今後の発展のためにも成長産業分野である医療機器市場へ先進的かつ高品質の電子部品を供給することは重要課題と考えています。

ところが、日本では電子部品・部材メーカーが医療機器のリスクを測りかねて医療機器分野への参入を躊躇し、必ずしも積極的に医療機器向けに部品を供給する状況には到っていないことが指摘されています。

電子部品部会は、このような誤解を払拭するために、電子部品メーカーが積極的に電子部品を医療機器分野へ供給しやすくなるような環境作りをしなければならないと認識しました。

そこで、2013年6月に医療機器対応タスクフォースを立ち上げ、医療機器関連ビジネスの現状、医療機器に関する法規制（薬事法、PL法）等の情報の収集および研究を行い、電子部品メーカーがどうしたら積極的に

医療機器分野へ参入できる環境が作られるかを検討し、その検討結果として「医療機器への電子部品供給ガイド」を発行いたしました。

本ガイドは、国内すべての電子部品メーカー、すなわち企業経営・開発・製造・販売および電子部品の部材の購買等のあらゆる側面で電子部品の供給に携わる方々を読者として想定し、医療機器分野への参入にまつわる不安を払拭して医療機器市場へ積極的に参入する必要性を感じていただくことを目的としています。

本報告会では、電子部品メーカーの視点から見た参入に際しての諸課題、留意点等について説明し、電子部品メーカーの医療機器市場への参入の活発化に向けて啓発活動を行いました。



## プログラム

### ○開会の挨拶

(一社)電子情報技術産業協会 電子部品部会 企画委員会 医療機器対応TF 主査 梶田 栄 氏 (株)村田製作所

### ○はじめに

波多野 太郎 氏 (株)村田製作所

### ○「医療機器市場とその概要」

宮下 洋子 氏 (株)情報通信総合研究所

### ○「医療機器ビジネスの特徴」

石井 浩一 氏 (TDK-EPC(株))

### ○「医療機器に関する法規制 (薬事法、PL)」

藤田 好博 氏 (日本ケミコン(株))

### ○「各国の規制」

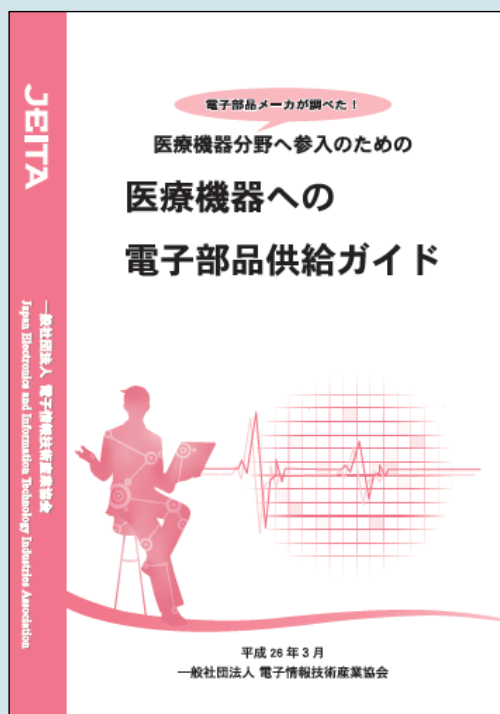
佐藤 茂 氏 (アルプス電気(株))

### ○「医療機器市場への参入支援」

保登田 孝史 氏 (マブチモーター(株))

### ○おわりに (まとめ)

(一社)電子情報技術産業協会 電子部品部会 企画委員会 医療機器対応TF 主査 梶田 栄 氏 (株)村田製作所



会員 会員外とも 2,160 円 (税込・送料別)

JEITA ホームページ・サービスセンターにて販売中

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=537&cateid=4>